中期ビジョン(中期経営計画)

当社は2013年3月期を初年度とした5カ年の中期ビジョンを推進しています。中期ビジョンのスローガンを「原点回帰」 とし、オリンパス創業の原点に立ち返り再出発をすることで、ステークホルダーからの信頼を回復し、オリンパスの再生と 新たな企業価値の創造を目指します。

経営方針

利益ある成長 原点回帰 One Olympus 世界中の計員が 製品・ソリューションを通して コスト構造を徹底的に見直して、 経営戦略を共有して一丸となり、 社会の発展に貢献する 利益ある成長を目指す チームワークを発揮する 経営方針に基づく基本戦略 3 事業ポートフォリオの 再構築・ コスト構造の見直し 財務の健全化 ガバナンスの再構築 経営資源の最適配分 1. 事業ドメインの明確化 1. 原価低減 1. 安定した事業収益の確保 1. ガバナンス体制再整備 2. 非事業ドメインの見極め・ 2. 間接費用の大幅削減 2. キャッシュ・フロー最大化 2. 内部統制強化 整理 3. 資産のスリム化 3. コンプライアンス体制強化 3. 経営資源の最適配分を促す しくみの整備 医療を中心に コスト構造の 自己資本比率を 信頼を回復し、 「こころとからだの豊かさに 抜本的な見直しにより、 早期に改善し、 企業価値を向上

基本戦略遂行の成果を、「投下資本利益率 (ROIC)*|「営業利益率|「フリー・キャッシュ・フロー|「自己資本比率 | の4つの指標で モニタリングしています。

経営の安定化を実現

事業の収益性を示す営業利益率は11.9%、財務体質の健全性を示す自己資本比率は32.9%と、いずれも前期に前倒しで達成 した2017年3月期の目標水準を超えてさらに向上しました。ROICは8.0%と目標達成に向けて着実に進捗しています。フリー・ キャッシュ・フローは売上債権や在庫の増加等により272億円と前期より大きく減少しました。

評価指標と目標水準(連結)

貢献する企業」を目指す

評価指標	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (実績)	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (実績)	2017年3月期 (目標水準)
投下資本利益率(ROIC)*	2.7%	2.7%	5.9%	8.0%	10%以上
営業利益率	4.2%	4.7%	10.3%	11.9%	10%以上
フリー・キャッシュ・フロー (営業CF+投資CF)	△48億円	587億円	521億円	272億円	700億円以上
自己資本比率	4.6%	15.5%	32.1%	32.9%	30%以上

^{*} 投下資本利益率 (ROIC) について 企業が事業に投じた資金が、どれだけ効率的に利益を上げているかを示す財務指標。当社では、以下の前提により算出しています。 Return (税引き後営業利益)÷IC (株主資本+有利子負債)

グループ全体の収益力を向上

中期ビジョン3年間の成果

		2012年3月期-	+2015年3月期での変化
1	医痉毒类	売上高 +60% 3,492億円→5,583億円 全分野で飛躍的な成長	営業利益率 + 3 pt 19.5%→22.4% 売上増加が寄与
事業ポートフォニ	医療事業	研究開発費 +61% 269億円→433億円 製品ラインアップ拡充	設備投資額 + 136% 156億円→368億円 国内製造拠点の強化
り才の再構築・経営	科学事業	営業利益率 + 1 pt 5.9%→6.6% フィリピン工場の閉鎖等	産業機器分野売上高 + 19% 498億円→594億円 産業機器分野の拡大
- トフォリオの再構築・経営資源の最適配分	映像事業	デジタルカメラ売上高に対するミラーレス比率 2 倍超 34.2%→71.8% ミラーレスへのシフトを加速	製造拠点 △3 拠点 5拠点→2拠点製造体制の見直し
	その他事業	関係会社数 △33% 208社→139社 非事業ドメインの整理	営業利益 黒字化 △80億円→12億円 不採算事業の整理
2 コス	ト構造の見直し	営業利益率 + 8 pts 4.2%→11.9% グループで収益力を向上	原価率 △ 18pts 54.8%→35.9% 継続的な原価低減
3	†務の健全化	自己資本比率 + 28pts 4.6%→32.9% 資本提携、新株発行等	有利子負債 △3,000億円 6,424億円→3,544億円 繰上返済も活用し半減
ガバ:	ナンスの再構築	取締役に占める社外取締役員数 過半数 8名/13名中 経営の健全性を確保	コーポレートガバナンス・コード対応* 100% 積極的なガバナンス体制強化への取り組み
		¥ ¥	* 当社は、コーポレートガパナンス・コードのすべての原則を実施しています。
	時	————————————————————————————————————	10円(4期ぶり)

3,673億円→1兆5,300億円

0円→10円